

令和7年度 第5回 介護保険事業者連絡会次第

令和7年8月26日（火） 16時00分～

於：飯田文化会館 1階展示室

1 開会

2 連絡・報告事項等

- (1) 認知症月間について（基幹包括支援センター係）
- (2) 認知症講演会について（基幹包括支援センター係）
- (3) 介護支援専門員等研修会について（基幹包括支援センター係）
- (4) 送付先変更届について（介護認定支援係）
- (5) 【長野県】令和7年度介護テクノロジー定着支援事業の実施について
- (6) 【長野県】災害時の介護活動に関するアンケートについて

3 事業者からのお知らせ

4 その他

5 閉会

◆次回以降の連絡会：

○9月の事業者連絡会は開催休止

○令和7年10月24日（金） 飯田文化会館 1階 展示室

午後4時～

1 認知症月間について（基幹包括支援センター係）

9月21日は「世界アルツハイマーデー」と制定されており、この日を中心に認知症に関する啓発を実施しています。日本では、2024年1月に制定された「共生社会の現実を推進するための認知症基本法」において国民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるために、毎年9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と定めています。

各事業所の広報誌などでも、認知症について取り上げていただき、正しく認知症を理解していただくための啓発をお願いします。

また、9月17日に地域包括支援センター、イオン薬局と認知症月間イベント「新しい認知症観を知ろう！」を実施しますので、啓発にご協力ください。

【別紙1】認知症月間イベント「新しい認知症観を知ろう！」チラシ

【問合せ先】

飯田市 福祉部 長寿支援課 基幹包括支援センター係
電話：0265-22-4511（内線 5757）

2 認知症講演会について（基幹包括支援センター係）

【別紙2】認知症映画「オレンジ・ランプ」上映会チラシ

【問合せ先】

飯田市 福祉部 長寿支援課 基幹包括支援センター係
電話：0265-22-4511（内線 5758）

3 介護支援専門員等研修会について（基幹包括支援センター係）

【別紙3】令和7年度飯田市介護支援専門員等研修会の開催について

【問合せ先】

飯田市 福祉部 長寿支援課 基幹包括支援センター係
電話：0265-22-4511（内線 5757）

4 送付先変更届について（介護認定支援係）

【別紙4】介護保険関係書類 送付先変更届

【問合せ先】

飯田市 福祉部 長寿支援課 介護認定支援係
電話：0265-22-4511（内線 5767）

5 【長野県】令和7年度介護テクノロジー定着支援事業の実施について

【別紙5】令和7年度介護テクノロジー定着支援事業の実施について

【問合せ先】

長野県介護支援課介護人材係

電話：026-235-7129

6 【長野県】災害時の介護活動に関するアンケートについて

【別紙6】災害時の介護活動に関するアンケートへのご協力のお願い

【問合せ先】

株式会社 日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

電話：0120-344-343

9月21日は『認知症の日』です！

認知症月間イベント 新しい認知症観を知ろう！

9/17(水)

イオンスタイル飯田 アップルロード

飯田市長寿支援課、地域包括支援センターとイオン薬局は、市民の皆様に「新しい認知症観」を知っていただくためのイベントを開催します。
お気軽にお立ち寄りください。

日時：令和7年9月17日(水) 13:30～16:00

場所：イオンスタイル飯田 アップルロード 2階 そよらコート

対象：どなたでも参加OK

※エスカレーター昇ってすぐ正面

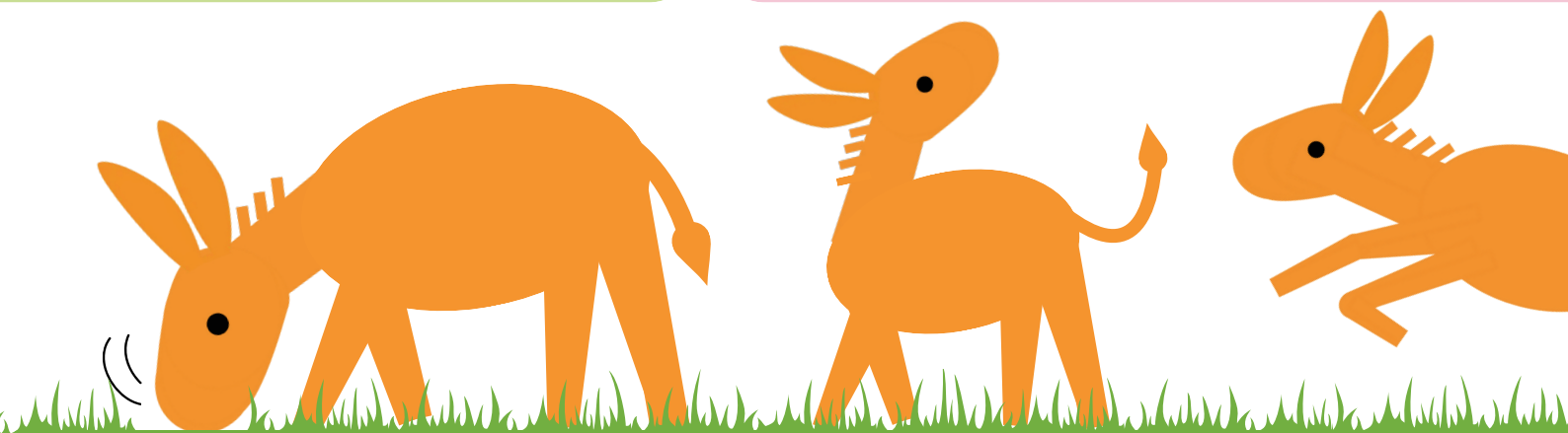
参加費無料

情報コーナー

- ・ 認知症に関するパネルの展示
- ・ 心配事、困りごと相談
- ・ イオン薬局コーナー
(ドリンク試飲など)

体験コーナー

- ・ 認知症マスコットキャラクター「ロバ隊長」グッズ作り
- ・ 脳を刺激する！脳トレゲーム
- ・ 認知症を予防するコグニサイズ体操



お問い合わせ 飯田市役所長寿支援課 TEL 0265-22-4511(内線5757)

認知症映画上映会

「新しい認知症観」について考えよう

鑑賞
無料

オレンジ・ランプ

貫地谷しほり 和田正人

伊寄光則 山田雅人 赤間麻里子 赤井英和 中尾ミエ

監督:三原光尋 企画・脚本・プロデュース:山岡秀幸 脚本:金杉弘子 音楽:宮崎道

主題歌:THE CHARM PARK「セルフノート」 原作:山岡秀幸「オレンジ・ランプ」(幻冬舎文庫)

39歳、パパが認知症!?

どうする、私!!

それは、温かな灯りが紡いだ感動の実話

日時 **11月6日 木**
13:30~16:00 (受付開始 13:00)

会場 **鼎文化センター ホール**
(飯田市鼎中平 1339-5)

若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとに描く、夫婦の希望と再生の物語。
年齢を重ねていく全ての人へ、より良く生きるヒントがここにある。

製作:野中雅志 野村弘幸 依田義 今村俊昭 五老剛 プロデューサー:藤田康宏 高瀬博行 アソシエイトプロデューサー:小川明日香 脚本:丹野智文 撮影:鈴木周一郎 照明:齊藤徹
録音:西岡正巳 編集:宮島竜治 美術:津留啓亮 装飾:森清彩賀 衣装:岩田友裕 タイトル:伊藤里香 キャスティング:田山大祐 助監督:金子功 制作担当:遠藤祐輝
Official Partner:太陽生命保険 特別協賛:南海アムール・ド・フランス・カンパニー/ネオ・フットボール/日本介護クラウド・エデュケーション/山崎会医療福祉グループ/カサマツネットワーク/在宅支援総合ケアサービス
推薦:厚生労働省 製作:「オレンジ・ランプ」製作委員会(フジテレビ/日本テレビ/朝日放送テレビ/朝日新聞社) 制作:「東西日本コミュニケーションズ」 制作協力:TKPlus APEE 配給:マッドGAGA★ (C) (R)
©2022「オレンジ・ランプ」製作委員会 www.orange-lamp.com



推薦:厚生労働省
文部科学省選定作品
GAGA★

— お申込方法 —

鑑賞をご希望の方は、
1~3のいずれかの方法で、
お申し込みください。

1 電話

長寿支援課

0265-22-4511

(内線 5755)

2 FAX

裏面に必要事項を記入し、
お申し込みください。

3 ながの電子申請サービス

以下のQRコードより、お申
し込みください。



お申込〆切

10/24 金

「新しい認知症観」とは

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりができることや、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

【上映会タイムスケジュール】

13:30~ 開会 飯田市の認知症の取組紹介など

14:00~ 映画上映(100分)

・会場駐車場に限りがあります。できる限り乗り合わせでのご来場にご協力をお願いいたします。

・映画の詳細内容は、裏面をご参照ください。

お問合せ 飯田市長寿支援課 基幹包括支援センター係 0265-22-4511(内線 5758)

実話をもとに描く、 やさしさに満ちた 希望と再生の物語

あなたの
大切な人が認知症に
なったら？

Story

妻・真央や二人の娘と暮らす39歳の只野晃一は、充実した日々を送るカーディーラーのトップ営業マン。そんな彼に、顧客の名前を忘れるなどの異変が訪れる。下された診断は、「若年性アルツハイマー型認知症」。驚き、戸惑い、不安に押しつぶされていく晃一は、とうとう退社も決意する。心配のあまり何でもしてあげようとする真央。しかし、ある出会いがきっかけで二人の意識が変わる。「人生を諦めなくていい」と気づいた彼ら夫婦を取り巻く世界が変わっていく…。

“貫地谷しほり×和田正人”で描く、 笑い涙の夫婦の9年間の軌跡

本作は、39歳で認知症と診断されながらも、働きながら講演活動が続けている丹野智文さんの実話に基づく物語。夫と共に前を向く真央役に、連続テレビ小説「ちりとてちん」のヒロイン役で知られ、ドラマ「大奥」ほか映画・ドラマ・舞台で活躍する貫地谷しほり。夫・晃一役に、映画『THE LEGEND & BUTTERFLY』、『Winny』など話題作への出演が続く和田正人。実力派俳優の二人が、晴れやかな感動を生み出す。

「認知症になったら人生終わり」なんかじゃない

介護の世界を描いて13万人以上の人々に感動を伝え続ける映画「ケアニン」シリーズ製作スタッフによる本作。タイトルには、“小さな灯でも、みんなで灯せば世界はこんなにも明るくなる”という願いが込められた。本人や家族が、認知症とどのように向き合えば笑顔で生きられるのか。認知症になっても安心して暮らせる社会とは？その一つの指標となり得る作品が誕生した。

企画協力：丹野智文さん

1974年、宮城県生まれ。ネットヨタ仙台に勤務。39歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断される。診断後は営業職から事務職に異動し、勤務を続けながら、不安を持っているご本人のためのもの忘れ総合相談窓口「おれんじドア」実行委員会代表を務める。自らの経験を語る講演活動にも力を入れている。



「オレンジ・ランプ」とは

認知症のシンボルカラーのオレンジと、みんなで灯せば世界を明るく照らすことのできるランプ。この二つを組み合わせ、認知症になっても暮らしやすい社会づくりの象徴となる願いを込めたタイトルです。

貫地谷しほり 和田正人
伊崎充則 新井康弘 水木薫 平尾葉々花 安山夢子 井上拓哉 池田朱那 金子さやか 谷田部俊 日向丈 田口智也 鈴木武 金澤美穂
山田雅人 堀田真三 赤間麻里子 赤井英和 / 中尾ミエ

【送付票不要】 11月6日(木) 飯田市認知症映画上映会「オレンジ・ランプ」 申込書

参加者ご氏名	連絡先電話番号

FAX 0265-22-4544

必要事項を記入の上、
切り取らずに送信ください。

お申込〆切

10/24 金

※参加をご希望の方は、ご氏名・連絡先をご記入の上 FAX でお申し込みください。

7飯長第 782 号
令和 7 年8月 15 日

飯田市内の居宅介護支援事業所等に属する
介護支援専門員 様

飯田市長寿支援課
飯田市地域包括支援センター
飯田市主任介護支援専門員連絡会

令和 7 年度飯田市介護支援専門員等研修会の開催について

猛暑の候、貴事業所におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より飯田市の介護保険行政にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。
さて、長寿支援課と飯田市地域包括支援センター及び飯田市主任介護支援専門員連絡会は、標記研修会を下記のとおり実施します。全国적으로活躍されている後藤佳苗氏を講師にお迎えすることができました。貴重な機会ですので、多くの皆様に受講いただきますようお願いします。
なお、本研修会は主任介護支援専門員更新研修のための法定外研修に位置付けられます。

記

1 日 時 令和7年 10 月 23 日(木) 10:00 ～ 15:00

2 会 場 南信州・飯田産業センター 2階 ホール
飯田市座光寺 3349-1 「エス・バード」内

3 内 容 講演とグループワーク
「法的根拠に基づいたケアマネジメント
～自立支援型ケアプランの作成～」
講師 一般社団法人あたご研究会
代表理事 後藤 佳苗氏



講師プロフィール

千葉県職員を経て 2005 年から現研究所を経営し、介護保険及び高齢者の保健福祉分野を中心に対人援助職等の資質向上に精力的に活動されている。
著書「新訂書くべきことをもらさない！ 記載例で学ぶ居宅介護支援経過」他

- 4 受講料 ①飯田市内の居宅介護支援事業所等に属する主任介護支援専門員及び介護支援専門員、飯田市地域包括支援センター職員は無料
②飯田市外の事業所に属する受講希望者は、会場の収容定員の状況により参加を許可しますので、ご相談ください。受講料 2,000 円
- 5 受講証 午前、午後を通じての受講を原則とします。主任介護支援専門員更新研修に係る法定外研修受講証を 1 人 2 枚交付しますので、必要な方は申込フォームに入力してください。

裏面あり

- 6 申込み 事業所ごとに希望者をまとめて 10月2日(木)までに、下記 ながの電子サービスにてお申し込みください。

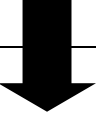
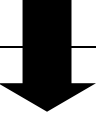
https://apply.e-tumo.jp/city-iida-nagano-u/offer/offerList_detail?tempSeq=60896



- 7 お願い ①研修資料を後日メールにて送付しますので、各自、印刷または端末にダウンロードしてご持参ください。
②駐車場が十分ありませんので、乗り合わせでのご来場にご協力ください。
③途中退席及び途中参加はご遠慮ください。

- 8 お問い合わせ 飯田市福祉部長寿支援課基幹包括支援センター係(飯田市役所 A11 窓口)
担当 小椋 電話:0265-22-4511 内線 5757

介護保険関係書類 送付先変更届

被保険者番号			
被保険者氏名 (対象者)			
		生年月日： 明治・大正・昭和 年 月 日	
現在の送付先 	住所		
	宛名		
変更後の送付先  ※今回希望する送付先	住所 〒		
	電話番号		
	宛名	様 ・ 様方 (被保険者との続柄：)	
<関係書類> ○介護保険被保険者証 ○介護保険負担限度額認定証 ○社会福祉法人等利用者負担限度額認定証 ○介護保険負担割合証 ○介護保険料関係通知 ○認定更新等 他介護保険に係る全ての書類 ※一部の書類のみについての変更はできませんのでご了承ください。			

飯田市長 宛

介護保険関係書類の送付先を変更することについて、被保険者本人に異議がないことを確認しておりますので、上記のとおり変更をお願いします。

____年__月__日

届出人 住所

氏名

(被保険者との続柄：)

※成年後見人の方は、登記事項証明の写しを添付願います。

返送先住所

〒395-8501 長野県飯田市大久保町 2534 番地 飯田市 福祉部 長寿支援課

* 飯田市処理欄 (記入不要)

本人・代理人	身元確認	一号書類(1点で可) 個力・免・バ・在 住力・身・介専 他()		二号書類(2点) 保・介・負割 受給証・年手 他()		(左記と組合せ) 学証・社証 診他()	聞き取り確認事項	法人の場合 ☐ 登記事項証明 ☐ 社員証	確認者 /
	内容確認	システム	フォルダ	保険	認定	代理確認	☐ 法定(戸・住・成後・他) ☐ 委任状 ☐ 本人の一号/二号書類()		

<記載例>

介護保険関係書類 送付先変更届

被保険者番号	1234567		
被保険者氏名 (変更となる対象者)	介護太郎		
	生年月日： 明治・大正 昭和 8 年 8 月 8 日		
現在の送付先 ↓	住所	飯田市大久保町2534	
	宛名	介護太郎	
変更後の送付先 ※今回希望する送付先	住所 〒395-0044	飯田市本町1-15	
	電話番号	0265-33-3333	
	宛名	介護 通 (被保険者との続柄： 様 ・ 様方 長男)	
<関係書類> ○介護保険被保険者証 ○介護保険負担限度額認定証 ○社会福祉法人等利用者負担限度額認定証 ○介護保険負担割合証 ○介護保険料関係通知 ○認定更新等 他介護保険に係る全ての書類 ※一部の書類のみについての変更はできませんのでご了承願います。			

飯田市長 宛

介護保険関係書類の送付先を変更することについて、被保険者本人に異議がないことを確認しておりますので、上記のとおり変更をお願いします。

7年 5月20日

届出人

住所

飯田市本町1-15

成年後見人の方は、
登記事項証明の写し
を添付願います。

氏名

介護 通

(被保険者との続柄：

長男

)

7 介第 502 号
令和 7 年（2025 年）8 月 15 日

介護サービス事業者 様

長野県健康福祉部介護支援課長

令和 7 年度介護テクノロジー定着支援事業の実施について（通知）

このことについて、介護ロボットや ICT 機器等の介護テクノロジーの導入や定着に向けた補助を通じて、介護現場の生産性向上による職場環境の改善を図ることを目的として、予算の範囲内で補助します。

つきましては、下記のとおり補助申請の受付を開始しますので、補助金を申請する場合は、下記及び補助金交付要綱を十分にご確認いただくようお願いします。

記

1 補助内容について

県ホームページに掲載（下記 URL）※必ずご確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kaigo-shien/jinzai/kaigotech2025.html>

2 申請について

（1）ながの電子申請サービスから提出（様式は県ホームページに掲載）

https://apply.e-tumo.jp/pref-nagano-u/offer/offerList_detail?tempSeq=60782

（2）提出期限 令和 7 年 9 月 25 日（木）※期限を過ぎた場合は受け付けられません。

3 申請の留意事項

（1）昨年度からの変更点が多数ありますので、交付要綱等を十分ご確認の上、申請してください。

（2）本事業は国の令和 6 年度補正予算を財源としているため、理由のいかんを問わず、導入・実績報告・補助金請求書提出の一連の手続きが令和 8 年 3 月 10 日（火）に間に合わない場合は補助対象外となります。

（3）交付決定前に事業着手した分※についても補助対象とします（令和 7 年 4 月 1 日からの事業実施分が対象）。※必ず事前着手届をご提出ください

ただし、補助金の交付を確約するものではないことにご留意ください。

（4）令和 6 年度に実施した要望調査に回答していない事業所の申請も受け付けられるようにしました。

ただし、予算の関係上、回答があった事務所を優先させていただく場合があります。

（5）**1 法人 1 事業所**（介護保険法に基づく指定又は許可を受けた事業者）に限り申請が可能です。ただし、**職場いきいきアドバンスカンパニー又は信州ふくにん（認証評価制度）の認証を受けている、又は今後認証制度を申請する***事業所については、本補助金における申請上限を**1 法人（団体）2 事業所**へ拡大します。

※令和7年度中に職場いきいきアドバンスカンパニー又は信州ふくにん（認証評価制度）へ申請し、認証を受けることが条件です。令和7年度中に認証が受けられない場合は2事業所目の補助は受けられません。

- （6）来年度事業については未定です。同じ条件で実施できるとは限りませんのであらかじめご承知おきください。

4 補助金の額 ※補助要件を満たす必要がありますので必ず交付要綱をご確認ください。

（1）介護ロボット等

対象機器等	補助限度額	補助率
・移乗支援（装着型・非装着型） ・入浴支援 ・その他で示す機器	1 機器につき 100 万円	3/4
・上記以外の機器	1 機器につき 30 万円	3/4

（2）ICT等

職員数	補助限度額	補助率
1 名以上 10 名以下	100 万円	3/4
11 名以上 20 名以下	150 万円	3/4
21 名以上 30 名以下	200 万円	3/4
31 名以上	250 万円	3/4

（3）介護テクノロジーのパッケージ型導入

対象機器等	補助限度額	補助率
・（1）及び（2）の対象経費に該当するもので、複数のテクノロジーを組み合わせ導入する場合に必要な経費 ・見守り機器の導入に伴う通信環境整備するための経費	1 事業所につき 1,000 万円	3/4

【算定方法】

（1）から（3）で定める補助限度額と対象経費の実支出額に4分の3を乗じて得た額のいずれか低い額と、事業に要する経費から寄附金その他収入額を控除した額とを比較して少ない方の額を選定する。ただし、当該額に千円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てるものとする。なお、（1）から（3）により算出した額の合計額と、1事業所ごとの基準額1,000万円を比較して少ない方の額を補助額とする。

5 その他留意事項

- （1）補助対象事業及び補助要件が昨年度から変更になりました。申請いただいても補助要件を満たさない場合は補助対象外となりますので、交付要綱等でよくご確認ください。
- （2）お問い合わせいただく前に必ず県ホームページをご確認ください。

（問合せ先）
担 当 介護支援課介護人材係 山崎、篠原
電 話 026-235-7129（直通）
ファクシミリ 026-235-7394
E-mail kaigo-jinzai@pref.nagano.lg.jp

【厚生労働省 社会福祉推進事業】 災害時の介護活動に関する アンケートへのご協力をお願い

- 株式会社日本能率協会総合研究所では、本年度、「介護福祉士養成課程における災害時の介護に係る教育のあり方に関する調査研究事業」を実施しております。
- 本事業は、今後の介護福祉士養成課程における災害に関する教育のあり方を検討することを目的としております。介護福祉士のみなさまのご経験をもとに、災害と介護福祉教育について検討します。
- ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともアンケート調査へのご回答にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

回答方法

インターネット
で回答

8月5日(火)～
8月29日(金)

設問数:5問程度
回答時間目安:3分程度

①
アクセスする



<https://rdc.dstyleweb.com/tjyy/3kyfpy/>

②
回答する

最後の画面で
「送信する」
をクリック

- 本調査では、過去の災害時の体験についてお伺いする質問項目が含まれております。そのため、ご自身の記憶を思い起こす中で、精神的なご負担を感じられる可能性があることについて、あらかじめご理解いただきますようお願い申し上げます。
- 調査へのご協力は完全に任意であり、途中で回答を中止しても一切の不利益はありません。ご自身の体調やお気持ちに無理のない範囲でご回答いただけますと幸いです。
- ご記入いただきました回答内容は、本事業における施策検討の基礎資料としてのみ利用するものであり、調査目的以外には使用致しません。また、本調査の回答内容は統計的に処理を行うため、個人が特定できるような情報を公表することはございません。
- 本調査は、株式会社日本能率協会総合研究所が、厚生労働省令和7年度社会福祉推進事業の採択を受けて実施する調査研究事業の一環として実施するものです。

調査についてのお問い合わせ

株式会社 日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部
〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22
Tel:0120-344-343(河合、富本)
e-mail:k_policy@jmar.co.jp